

平成27年 7月 9日

市川市長 大久保 博 様

市川市交通対策審議会
会長 高田 邦彦



市川市自転車等駐車場における経営手法の見直し方針案について(答申)

平成27年6月5日付、市川第20150522-0245号にて、市川市交通対策審議会へ諮問のありました標記の件について、当審議会において慎重に審議した結果、下記のとおり、答申いたします。

記

1. 自転車等駐車場を取り巻く環境の変化と諮問内容

市川市においては、昭和40年代後半より、駅前の放置自転車が「都市問題」として顕在化し、一部の駅から市営駐輪場を設置しはじめた。

さらに、昭和56年には「市川市環境美化条例」が施行され、放置自転車の対策が実施されてきた。

ところが、平成9年には、行徳駅の放置自転車数が全国ワースト2位になるという国の調査結果が報告され、さらなる市営駐輪場の増設及び放置自転車対策が進められてきた。

現在、これらの取組みにより放置自転車も減少するなど、駐輪場を取巻く環境は大きく変化している。また、市の行財政改革の一環として、平成26年4月の市政戦略会議の答申においては、「無料駐輪場の有料化と収支バランスの均衡」及び「民間活力の積極的な活用」が示された。その後、市川市において「市川市自転車等駐車場における経営手法の見直し方針案」が作成され、「受益者負担の適正化とサービスに応じた使用料」と「民間活力の活用について」の2点について平成27年6月5日に諮問を受けた。

2. 受益者負担の適正化とサービスに応じた使用料について

受益者負担の適正化とサービスに応じた使用料については、市民サービスの公平性の観点から、無料駐輪場の有料化及び使用料の見直しにより収支の均衡を図ること。また、無料駐輪場の有料化にあたっては、利用料金に応じた管理、施設の改善を施すこと。

駐輪場の利用料金については、民間事業者において運営されている駐輪場に配慮し、地域性、駅からの距離、屋根の有無などのサービスに応じた料金体系とすること。なお、学生や障がい者等の減免措置については、引き続き、配慮すべきである。

3. 民間活力の活用について

民間活力の活用については、最適な駐輪場運営手法を検討することとし、市民、利用者へのサービスが向上するよう、最も効果が発揮できる手法を見極めること。

また、超高齢社会となることから、高齢者の雇用拡大についても配慮すること。

4. 附帯意見

審議の経過において、委員より次のとおり意見があったので、駐輪場の運営にあたり配慮されたい。

- ①経営改革を進める上での利用率については、実際の台数を踏まえたものとする
- ②無料駐輪場の有料化においては、新たなコストを見込んだ計画とすること。
- ③今後もコストと収益の状況を公表すること。
- ④時間貸しの駐輪場については、初期利用時間の無料化を図ること。
- ⑤有料化に伴うサービス向上策の内容を具体的に示すこと。
- ⑥3人乗り自転車や原付二種への対応に配慮すること。
- ⑦駐輪場管理人による適切な管理と、接遇の向上に努めること。
- ⑧放置自転車の増加が懸念されることから、放置自転車禁止区域内外にかかわらず対策を講ずること。

以上

駐輪場を取り巻く背景と課題

- ・ 駐輪場運営において、受益者負担の原則が強く求められるようになってきた。
- ・ 市営駐輪場経営において、無料駐輪場の有料化や収支バランスの均衡が指摘されている。
【平成 25 年度 第一次アクションプラン「公の施設の経営効率化」】
- ・ 放置自転車は減少しているが、利用者のニーズが多様化してきている。

駐輪場の収支は・・・

- 駐輪場運営コスト > 駐輪場使用料収入
【594,549,360 円】 【476,818,870 円】

1 億 1,773 万 490 円の収入不足

※収入不足のうち無料駐輪場が 1 億 673 万 6,828 円。

- サービスの差が使用料に反映されていない。
※ 現在は駅までの距離のみで算定。

現在の駐輪場運営は・・・

- 環境変化や利用者ニーズの多様化
※ ニーズへの迅速で柔軟な対応など。
- 駐輪場ごとの利用率に差
- 駐輪場の経費構造の見直し
※ 平成 25 年度の総コスト：
5 億 9,454 万 9,360 円

受益者負担の適正化と サービスに応じた使用料

① 無料駐輪場の有料化とそれに伴う環境改善

② 駐輪場使用料をサービスの質
【例：距離・屋根・階層・地域性】に応じて改定

③ 駐輪場運営コストの削減

民間活力の活用

① 民間のノウハウ・創意工夫の導入
【例：委託範囲の見直し・拡大】

② 最適な駐輪場運営手法の検討
【例：指定管理・PFI・民営化】

③ 高齢者の就労機会の確保

目指すべき結果

- 駐輪場運営コスト = 駐輪場使用料収入
- サービスの質に応じた新使用料金体系
- 駐輪場運営コストの削減
- 柔軟かつ迅速な駐輪場経営
- 駐輪場利用率の平準化
- 駐輪場のサービス向上